

X S T A R C A DでX F 3 5（S Iパネル）C A Dの入力物件を開く



X F 3 5（S Iパネル）が導入されていないC A Dでも、X F 3 5 C A Dで入力した物件をX S T A R C A Dで開くと、X F 3 5 C A Dの部材表示や間柱欠きなどの加工連動に対応しました。

※ 以前は、X S T A R、X F 3 5（S Iパネル）の両方が入っているC A Dでのみ動作していました。
今回からX S T A RのみのC A Dでも動作できるようにしました。

【X S T A R C A D対応内容】

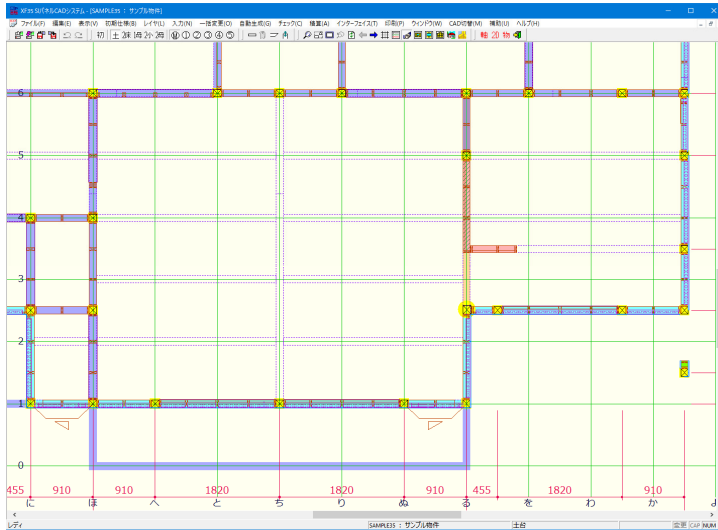
- ・ X F 3 5で入力した部材の表示 2 ページ
ダミー材としてX F 3 5 C A Dで入力した部材が表示できるようになりました。
- ・ 桁梁に間柱欠き加工を生成 5 ページ
桁梁にX F 3 5 C A Dで入力した間柱の欠き加工が生成できるようになりました。
- ・ 柱に窓台・窓まぐさ・胴縁欠き加工を生成 8 ページ
柱にX F 3 5 C A Dで入力した窓台・窓まぐさ、胴縁の欠き加工が生成できるようになりました。
- ・ 床合板に間柱・筋違当り欠き加工を生成 1 2 ページ
床合板にX F 3 5 C A Dで入力した間柱、筋違の当り欠き加工が生成できるようになりました。



X F 3 5 C A Dの入力とX S T A R C A Dでの端柄材入力の併用は考慮しておりません。

XF35で入力した部材の表示

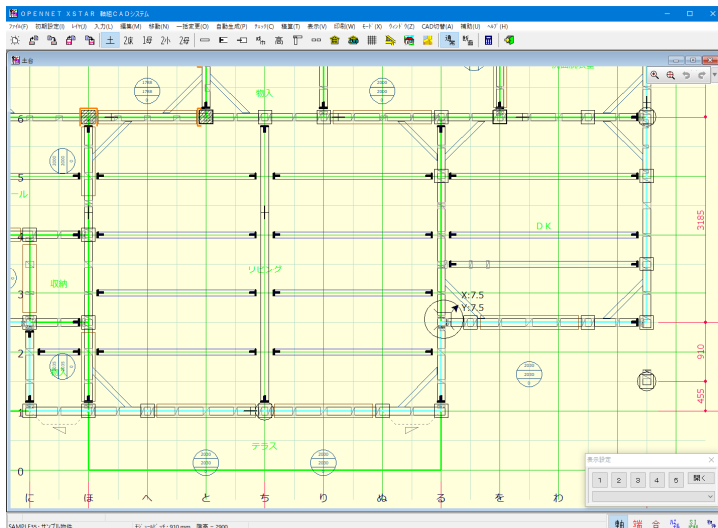
XF35CAD



XF35CADで入力した部材は、XSTARCAD側で下記の要素で表示されます。

XF35	XSTAR	XSTAR表示レイヤ
間柱・縦枠	間柱	メイン
筋違	筋違	メイン
窓台	窓台	メイン
窓まぐさ	窓まぐさ	サブ1
下枠	間柱受	メイン
上枠	頭繋ぎ	サブ2
造作下地材	胴縁	メイン
胴縁	胴縁	メイン
調整用合板	間柱受	サブ1

XSTARCAD



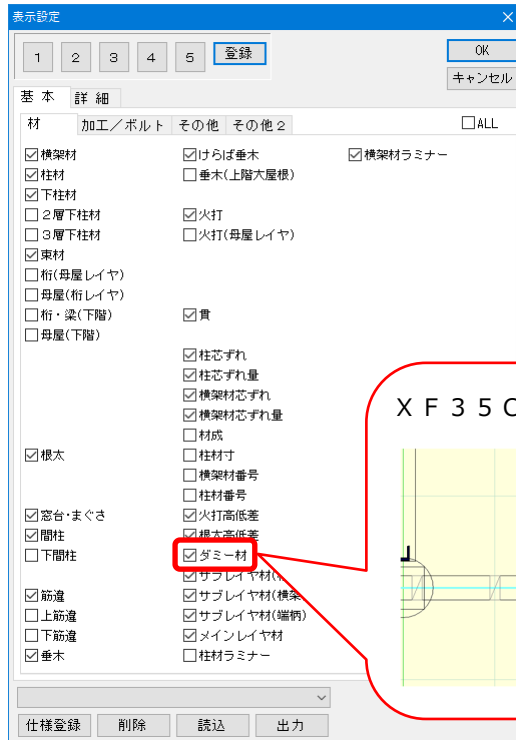
X F 3 5で入力した部材の表示

<表示 ON / OFF>

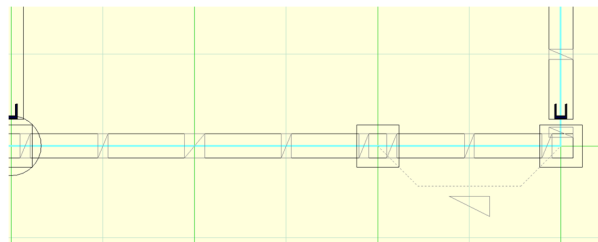
X F 3 5 C A Dで入力した部材は、X S T A R C A D側でダミー材として表示されます。

X S T A R C A Dの〔表示 - 要素〕でダミー材のON / OFFができます。

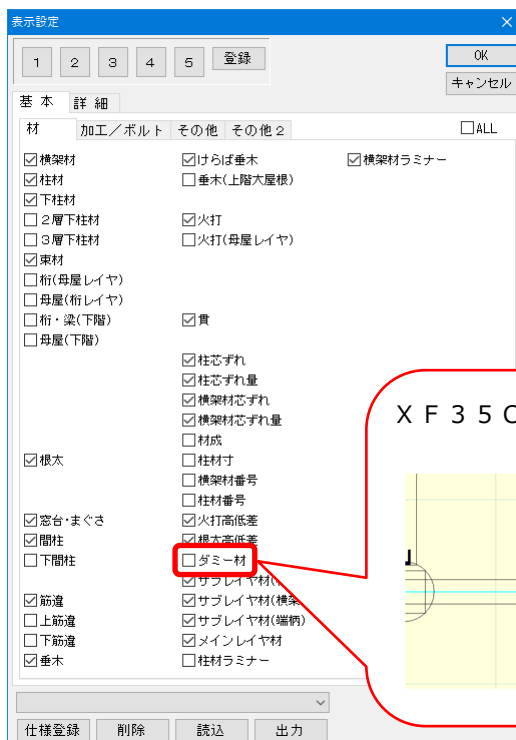
・表示 ON



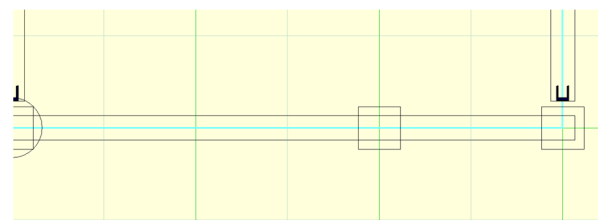
X F 3 5 C A Dで入力された間柱、筋違が表示されます。



・表示 OFF



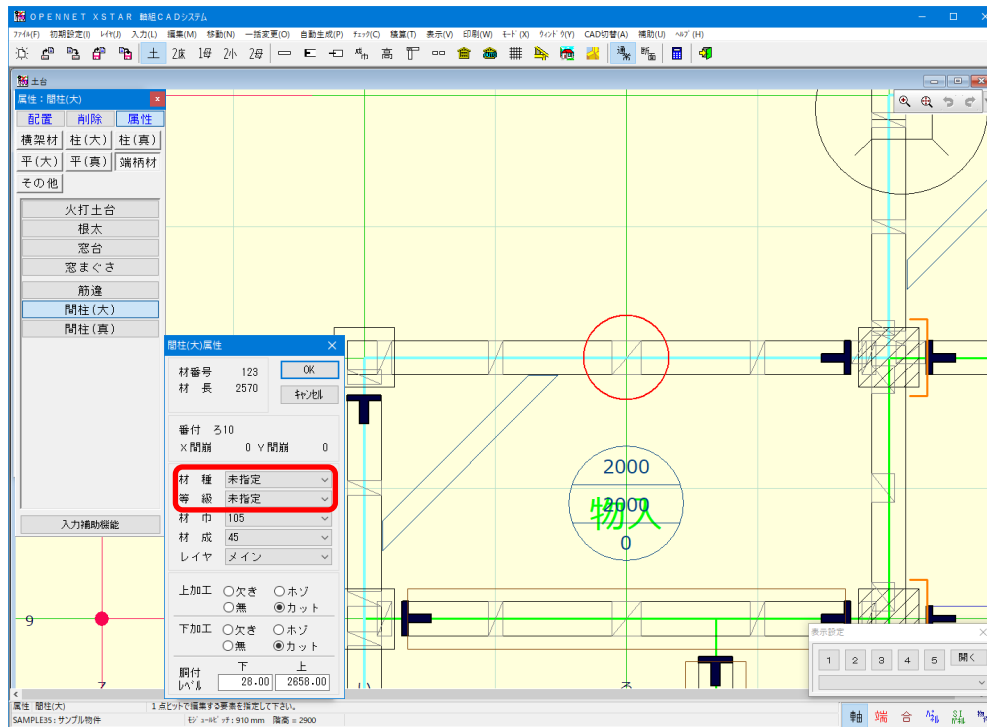
X F 3 5 C A Dで入力された間柱、筋違が表示されません。



X F 3 5 で入力した部材の表示

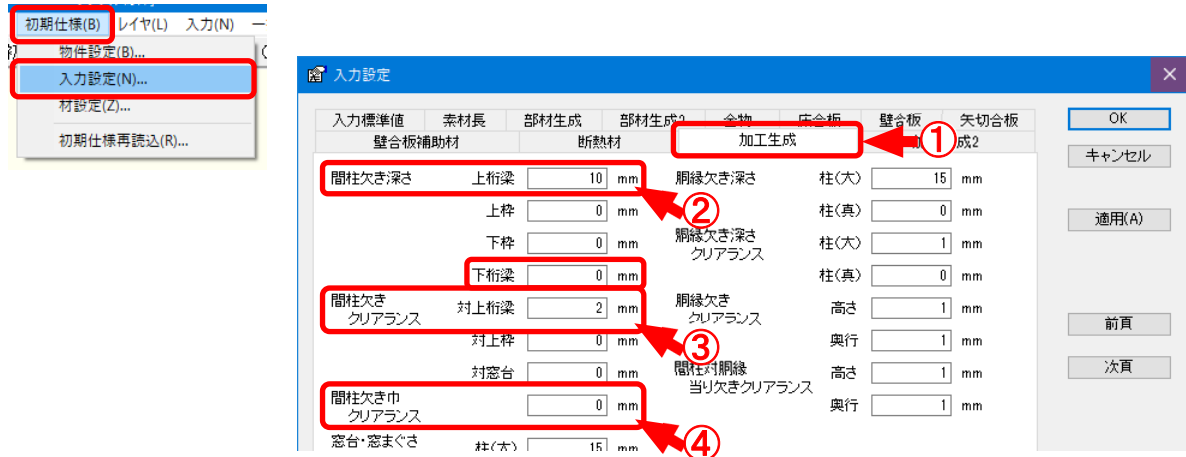
<材属性>

X F 3 5 C A D で入力した部材は、X S T A R C A D 側で属性を確認することはできますが、変更はできません。樹種、等級は「未指定」になります。

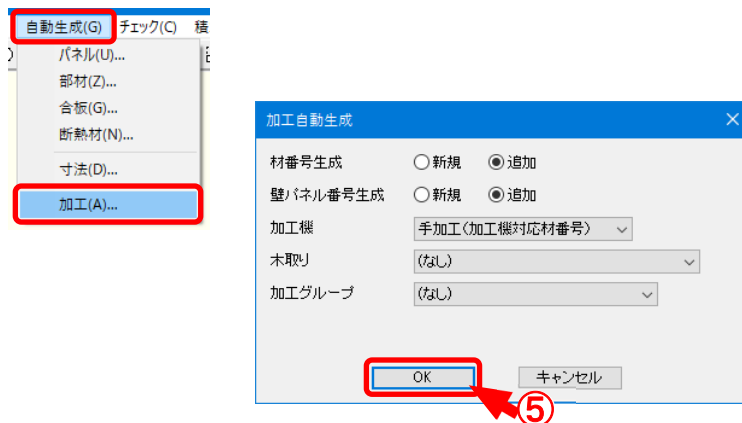


桁梁に間柱欠き加工を生成

X F 3 5 C A D



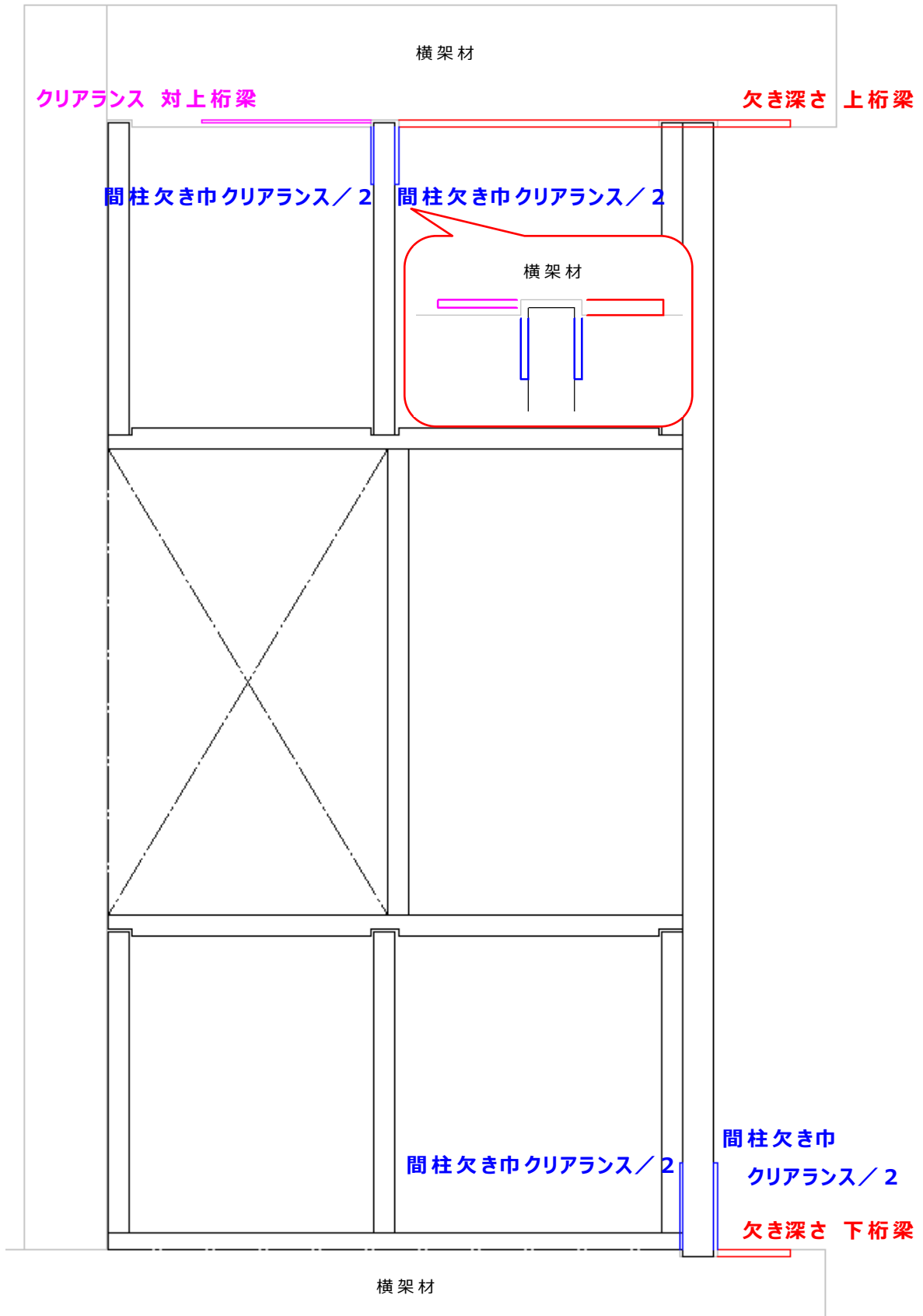
- ① 「初期仕様－入力設定」の「加工生成」をクリックします。
- ② 間柱欠き深さ：間柱欠きの深さを設定します。
- ③ 間柱欠きクリアランス：間柱欠きのクリアランスを設定します。
- ④ 間柱欠き巾クリアランス：間柱欠きの巾クリアランスを設定します。



- ⑤ 部材を入力後、「自動生成－加工」を実行します。
- ⑥ 物件を保存します。
X S T A R C A Dが導入されているC A Dに物件データを移動します。

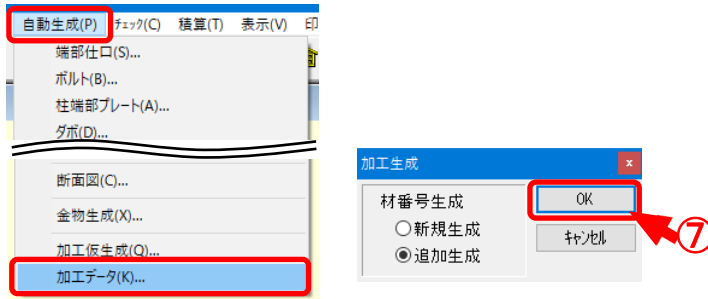
桁梁に間柱欠き加工を生成

＜間柱欠き設定＞

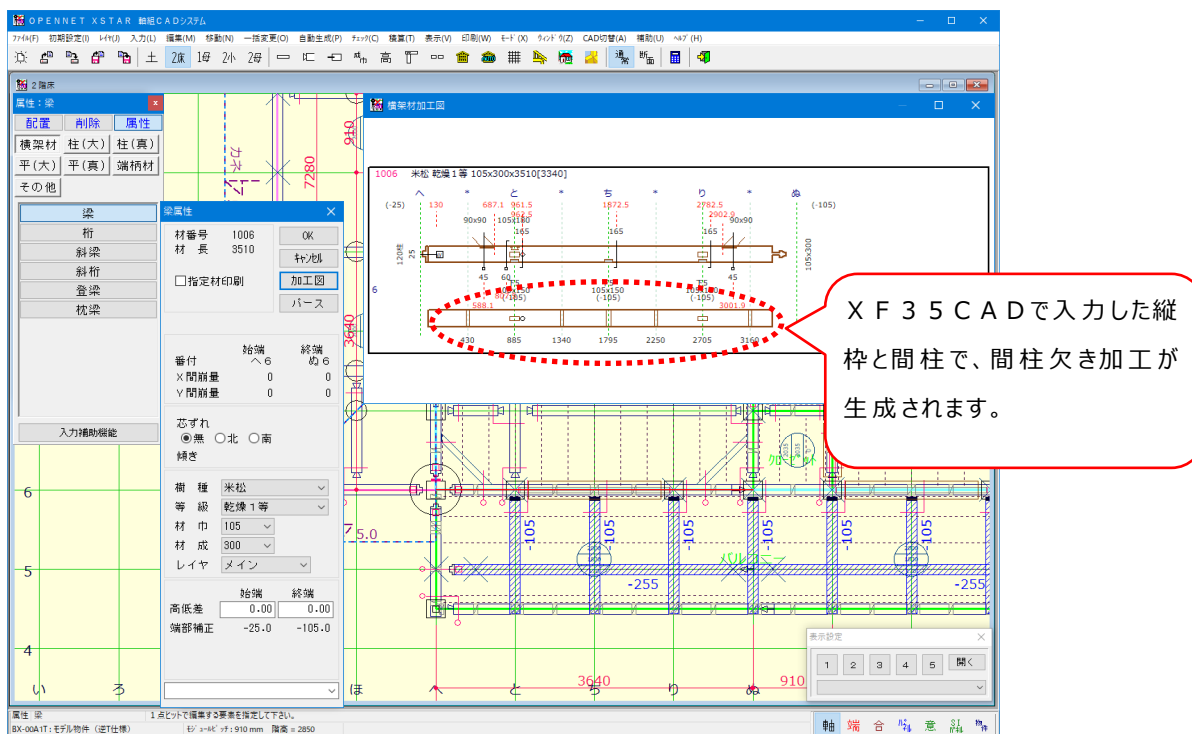


桁梁に間柱欠き加工を生成

X S T A R C A D



⑦ (自動生成 - 加工データ)を実行します。

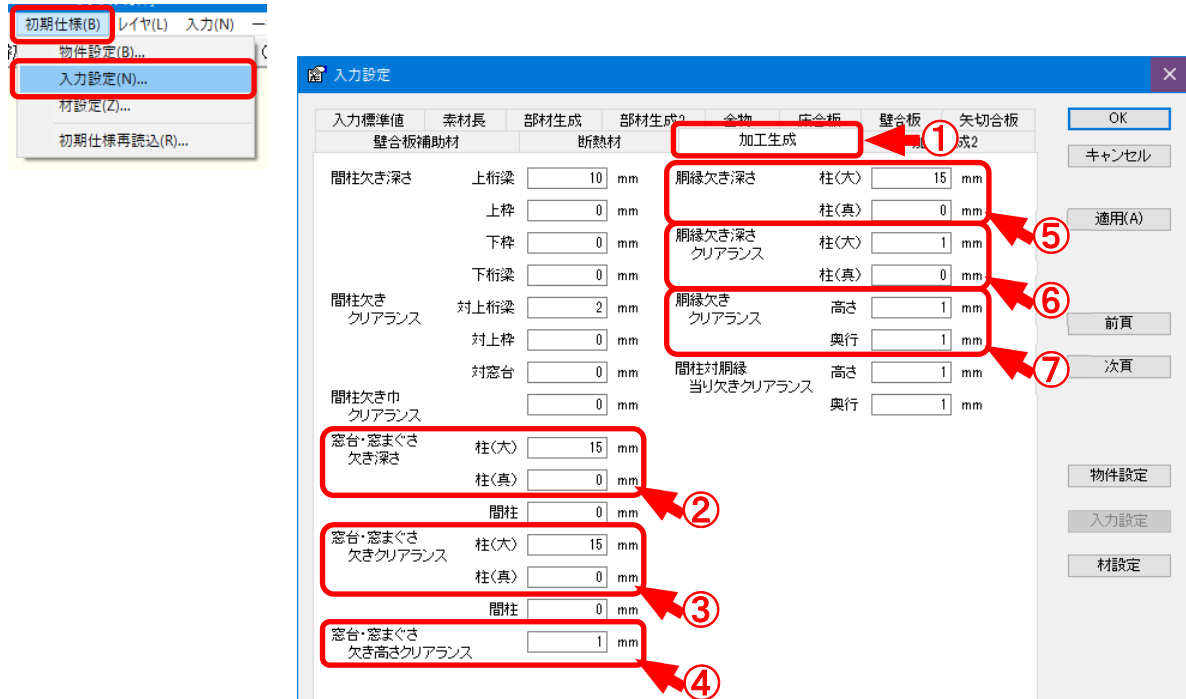


※ 軸組 C A Dで間柱欠きの設定を変更しても、反映されません。

間柱欠きの値を変更する場合は、X F 3 5 C A Dで設定の変更と加工生成の実行を行い、X S T A R C A Dに切り替えて再度、加工生成を実行してください。

柱に窓台・窓まぐさ・胴縁欠き加工を生成

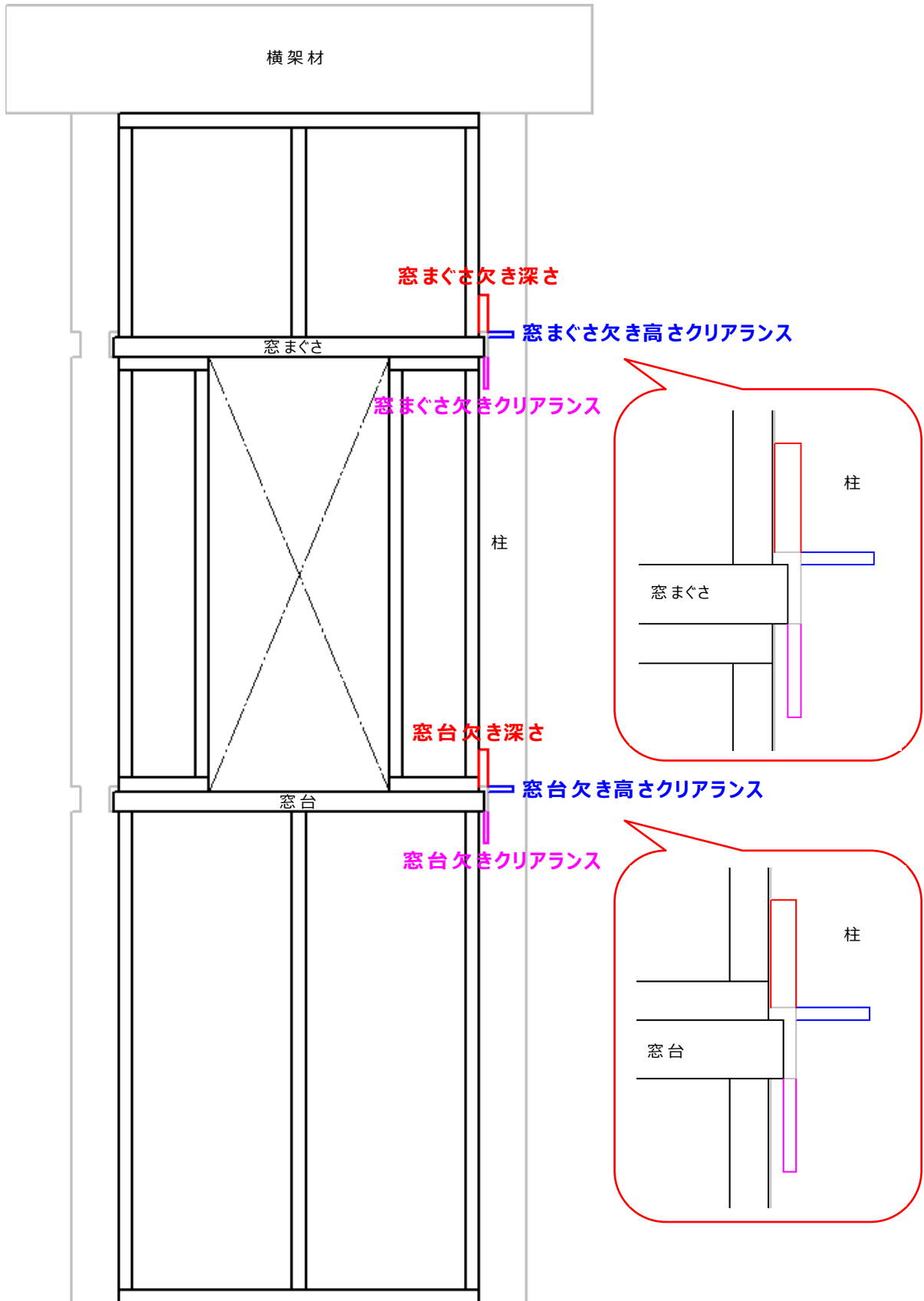
X F 3 5 C A D



- ① 〔初期仕様－入力設定〕の「加工生成」をクリックします。
- ② 窓台・窓まぐさ欠き深さ：窓台、窓まぐさ欠きの深さを設定します。
 - ・柱（大）：X S T A R C A Dの〔入力－要素〕－「属性－部屋」が「壁タイプ－大壁」となっている箇所に配置された柱に設定した欠き深さが反映されます。
 - ・柱（真）：X S T A R C A Dの〔入力－要素〕－「属性－部屋」の「壁タイプ－真壁」となっている箇所に配置された柱に設定した欠き深さが反映されます。
- ③ 窓台・窓まぐさ欠きクリアランス：窓台、窓まぐさ欠きの深さクリアランスを設定します。
 - ・柱（大）：X S T A R C A Dの〔入力－要素〕－「属性－部屋」が「壁タイプ－大壁」となっている箇所に配置された柱に設定した欠きクリアランスが反映されます。
 - ・柱（真）：X S T A R C A Dの〔入力－要素〕－「属性－部屋」の「壁タイプ－真壁」となっている箇所に配置された柱に設定した欠きクリアランスが反映されます。
- ④ 窓台・窓まぐさ欠き高さクリアランス：窓台、窓まぐさ欠きの高さクリアランスを設定します。

柱に窓台・窓まぐさ・胴縁欠き加工を生成

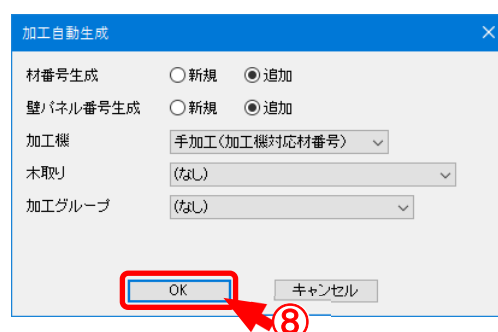
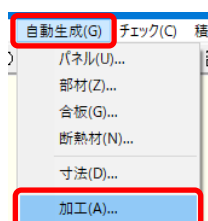
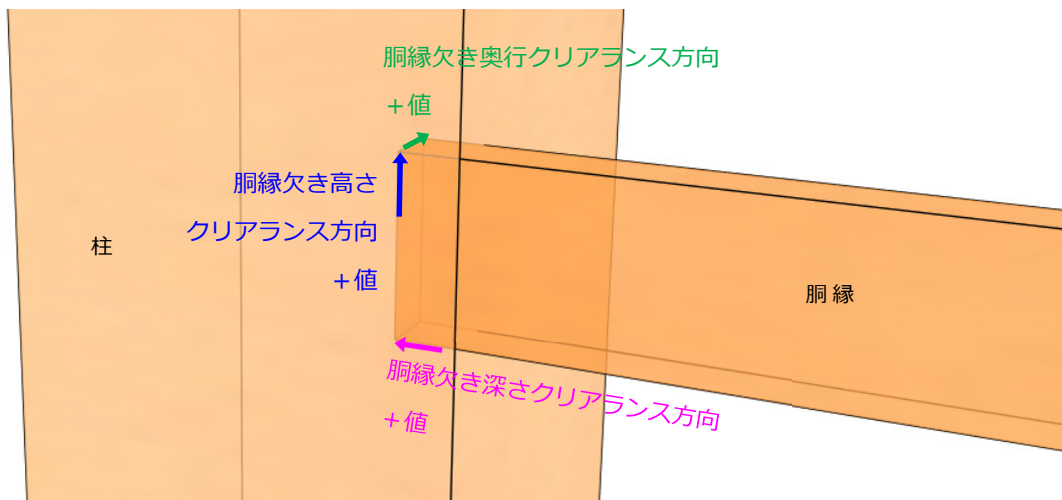
＜窓台・窓まぐさ欠き設定＞



柱に窓台・窓まぐさ・胴縁欠き加工を生成

- ⑤ 胴縁欠き深さ：胴縁欠きの深さを設定します。
- ・柱（大）：X S T A R C A Dの〔入力－要素〕－「属性－部屋」の「壁タイプ－大壁」に配置された柱に、設定した欠き深さが反映されます。
 - ・柱（真）：X S T A R C A Dの〔入力－要素〕－「属性－部屋」の「壁タイプ－真壁」に配置された柱に、設定した欠き深さが反映されます。
- ⑥ 胴縁欠き深さクリアランス：胴縁欠きの深さクリアランスを設定します。
- ・柱（大）：X S T A R C A Dの〔入力－要素〕－「属性－部屋」の「壁タイプ－大壁」に配置された柱に、設定した欠きクリアランスが反映されます。
 - ・柱（真）：X S T A R C A Dの〔入力－要素〕－「属性－部屋」の「壁タイプ－真壁」に配置された柱に、設定した欠きクリアランスが反映されます。
- ⑦ 胴縁欠きクリアランス
- ・高さ：胴縁欠きの高さに対するクリアランスを設定します。
 - ・奥行：胴縁欠きの奥行に対するクリアランスを設定します。

< 胴縁欠きクリアランス設定 >



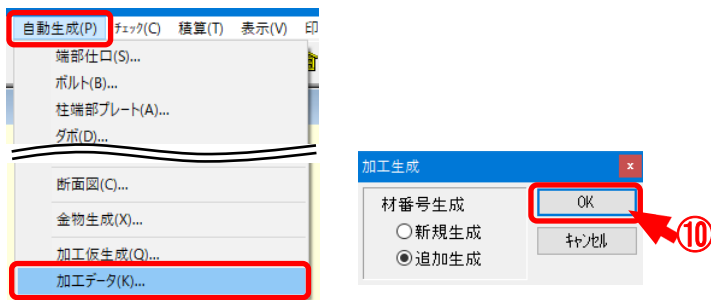
柱に窓台・窓まぐさ・胴縁欠き加工を生成

⑧ 部材を入力後、〔自動生成－加工〕を実行します。

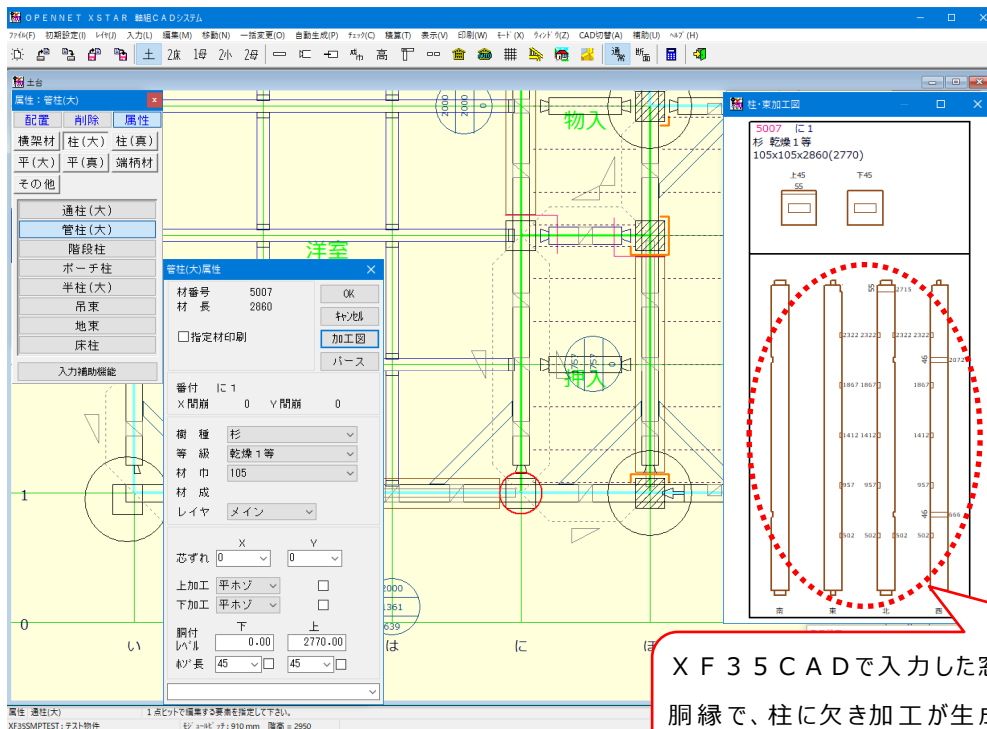
⑨ 物件を保存します。

X S T A R C A Dが導入されているC A Dに物件データを移動します。

X S T A R C A D



⑩ 〔自動生成－加工データ〕を実行します。



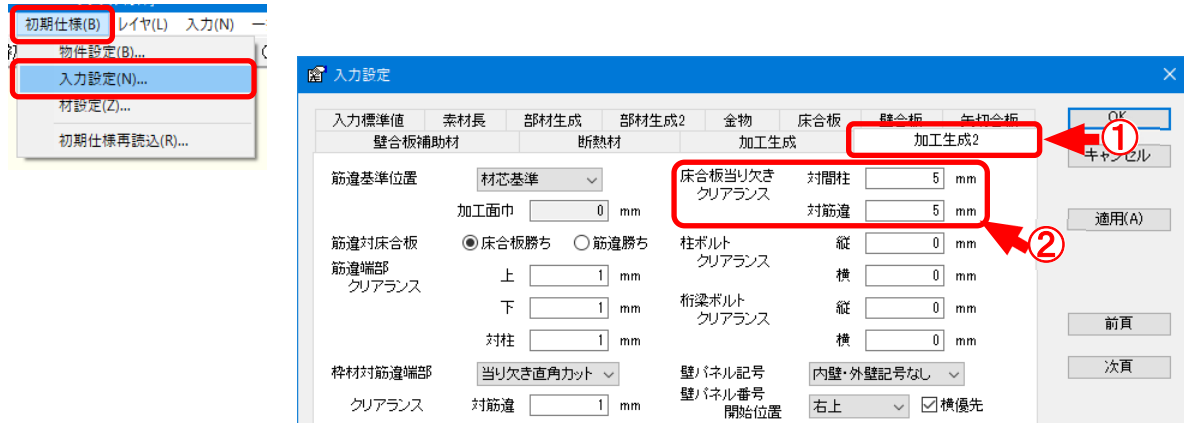
X F 3 5 C A Dで入力した窓台、窓まぐさ、胴縁で、柱に欠き加工が生成されます。

※ 軸組C A Dで窓台・窓まぐさ欠き、胴縁欠きの設定を変更しても、反映されません。

窓台・窓まぐさ欠き、胴縁欠きの値を変更する場合は、X F 3 5 C A Dで設定の変更と加工生成の実行を行い、X S T A R C A Dに切り替えて再度、加工生成を実行してください。

床合板に間柱・筋違当り欠き加工を生成

X F 3 5 C A D

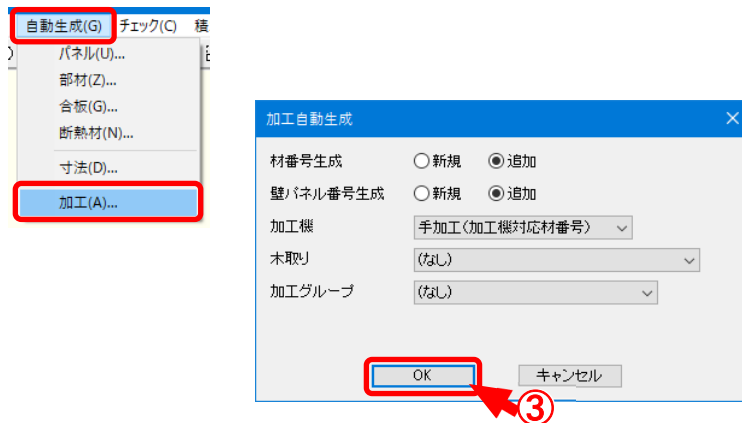


① 「初期仕様－入力設定」の「加工生成2」をクリックします。

② 床合板当り欠きクリアランス：床合板の間柱、筋違当り欠きクリアランスを設定します。

X S T A R 合板 C A D で入力した床合板に X F 3 5 C A D で設定したクリアランスが加味され、当り欠き加工が生成されます。

- ・対間柱：床合板の間柱当り欠きクリアランスを設定します。
- ・対筋違：床合板の筋違当り欠きクリアランスを設定します。



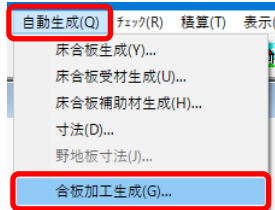
③ 部材を入力後、「自動生成－加工」を実行します。

④ 物件を保存します。

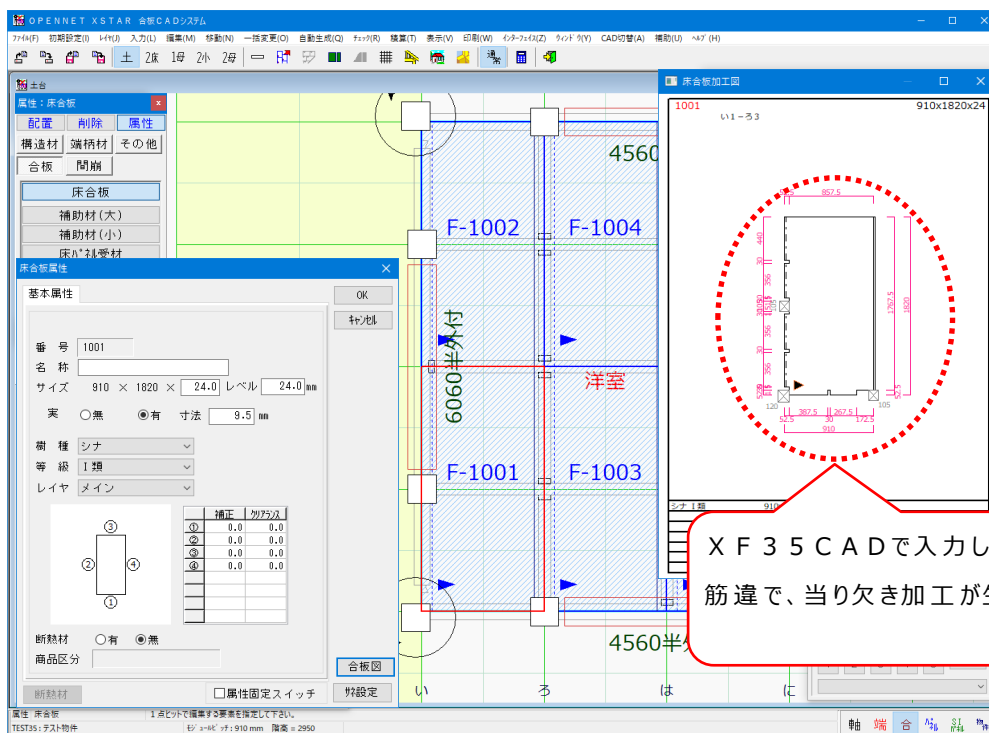
X S T A R 合板 C A D が導入されている C A D に物件データを移動します。

床合板に間柱・筋違当り欠き加工を生成

X S T A R合板CAD



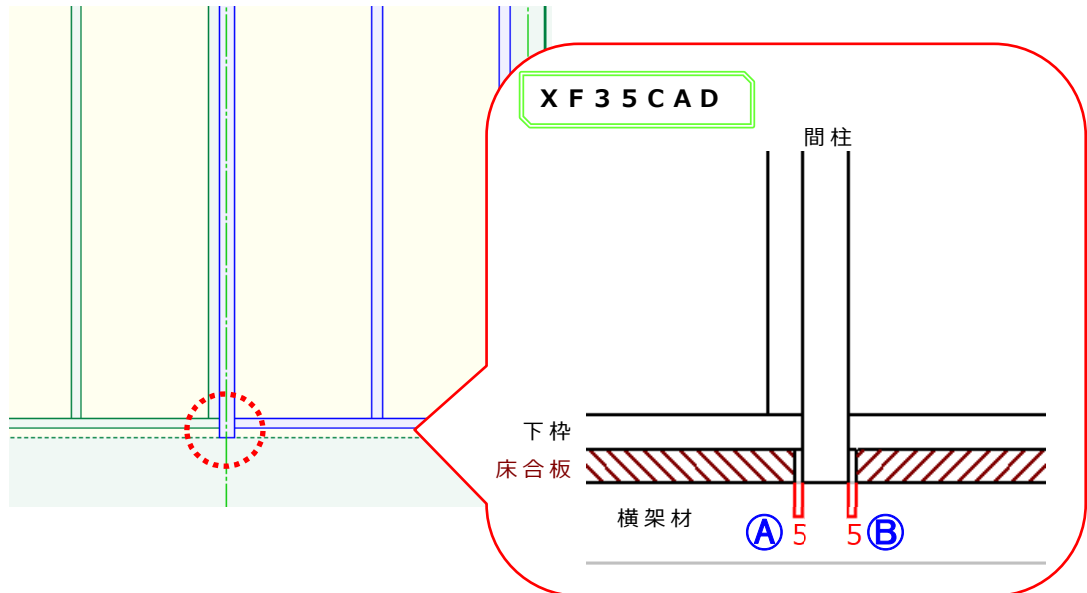
⑤ 「自動生成－合板加工生成」を実行します。



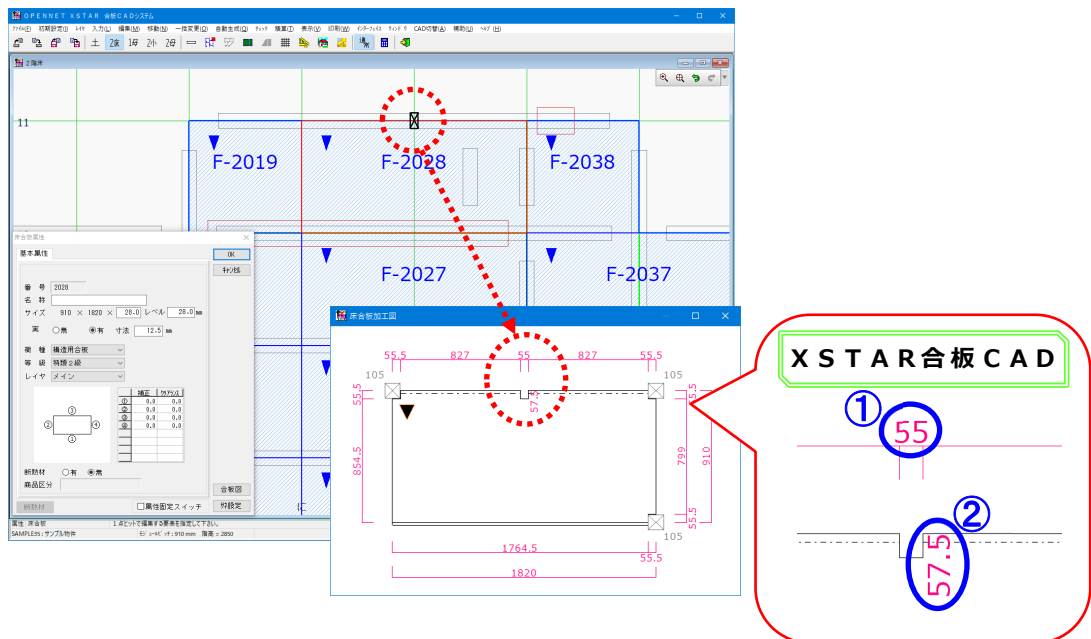
床合板に間柱・筋違当り欠き加工を生成

<床合板の間柱当り欠き>

例) 床合板当り欠きクリアランス 対間柱 : 5 mm



加工生成 ⇒ 合板CAD ⇒ 加工生成



① 55 mm = 間柱材成 (45 mm) + 当り欠きクリアランス (A 5 mm + B 5 mm)

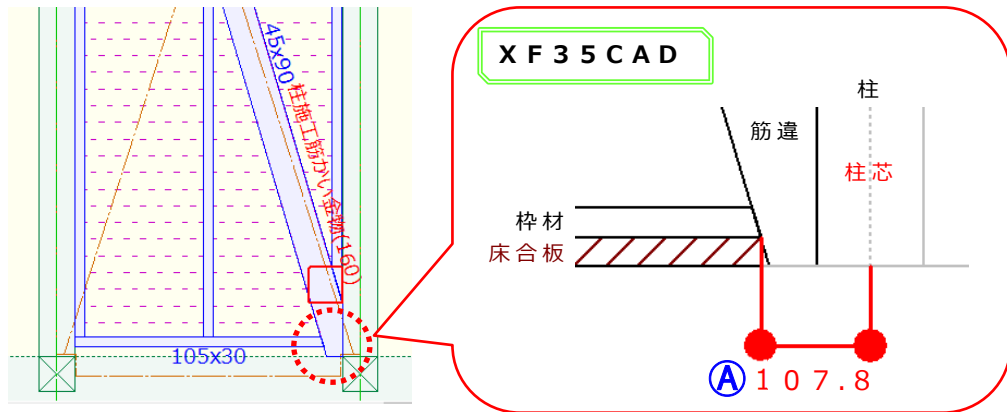
② 57.5 mm = 間柱材巾 / 2 (52.5 mm) + 当り欠きクリアランス (5 mm)

※ 当り欠きクリアランスを加味して床合板に欠き加工が生成されます。

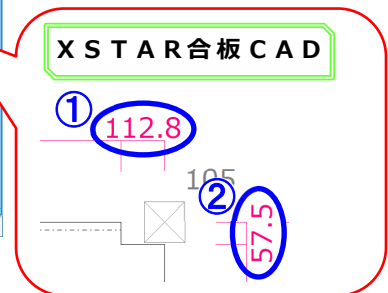
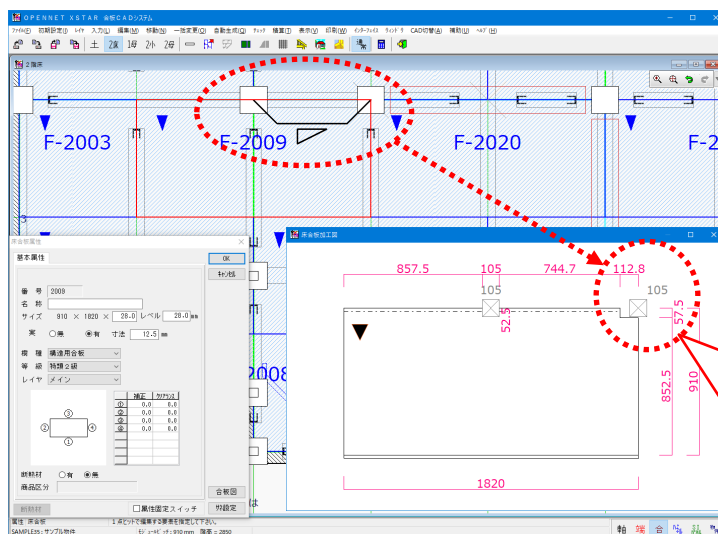
床合板に間柱・筋違当り欠き加工を生成

＜床合板の筋違当り欠き（筋違端部に筋違金物が配置されていない場合）＞

例）床合板当り欠きクリアランス 対筋違：5 mm



加工生成 ⇒ 合板CAD ⇒ 加工生成



① 112.8 mm = 柱芯～筋違 (A 107.8 mm) + 当り欠きクリアランス (5 mm)

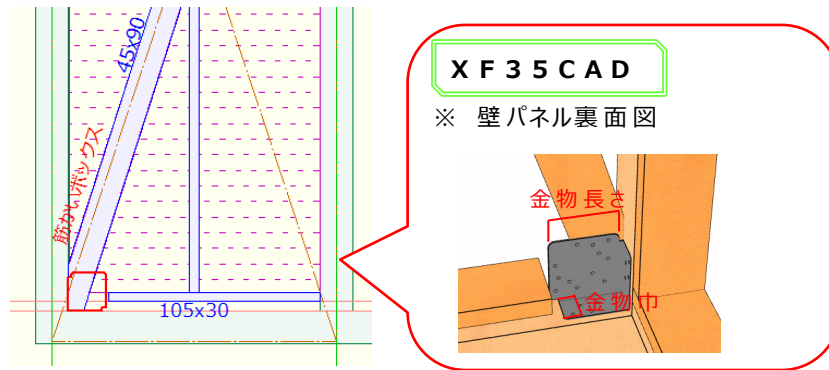
② 57.5 mm = 柱芯～筋違 (52.5 mm) + 当り欠きクリアランス (5 mm)

※ 当り欠きクリアランスを加味して床合板に欠き加工が生成されます。

床合板に間柱・筋違当り欠き加工を生成

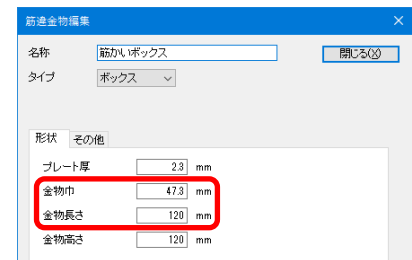
＜床合板の筋違当り欠き（筋違端部に筋違金物が配置されている場合）＞

例）床合板当り欠きクリアランス 対筋違：5 mm

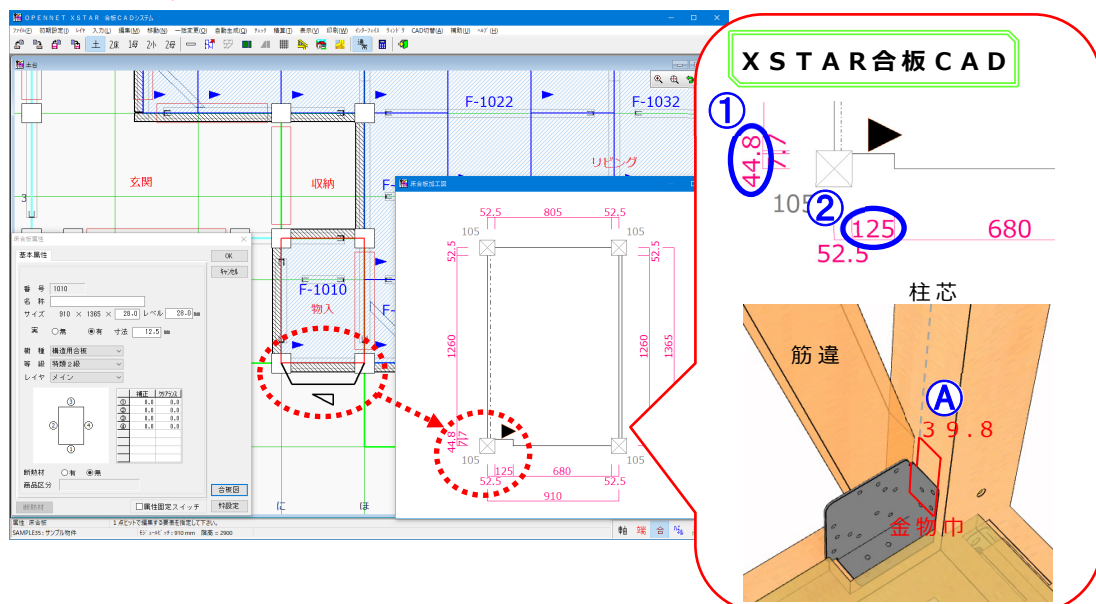


・金物マスター

〔補助－マスター編集〕の「金物マスター－筋違」で設定した金物巾、金物長さが床合板当り欠き加工に反映されます。



加工生成 ⇒ 合板CAD ⇒ 加工生成



① 44.8 mm = 柱芯～金物巾 (A 39.8 mm) + 当り欠きクリアランス (5 mm)

② 125 mm = 金物長さ (120 mm) + 当り欠きクリアランス (5 mm)

※ 金物サイズ + 当り欠きクリアランスを加味して床合板に欠き加工が生成されます。